

# 板橋ともゆき 県政報告



Vol.3

ウェブサイト更新中!

板橋智之

埼玉県議会の平成27年9月定例会に於いて  
一般質問した一部をご紹介させていただきます。

## 質問 川口北東部への新たな警察署の設置に向けた課題解決について

川口市とお隣のさいたま市を比較すると、1カ所の警察署で担当する人口比は、川口市が約29万5千人に対してさいたま市は約18万人であります。川口市は県南で犯罪件数も多い事から市内の北東部エリア、位置的には戸塚地区、神根地区、安行地区のいずれかに3ヶ所目の警察署の設置が強く求められております。加えて地元の5つの連合町会長からも毎年要望活動が行われます。

本県全体を全国から比較してみますと、関係者のご努力も叶わず、本県警察官1人当たりの業務負担は、

人口が全国ワースト1位、刑犯罪認知件数及び重要犯罪認知件数が全国ワースト2位、110番有効受理件数が全国ワースト4位であり極めて荷重な状況にあります。こうした状況を踏まえますと警察官の業務負担を軽減するべく、まずは警察官の増員が急務であると考えます。聞くところによりますと、仮に新たな警察署を新設するには少なくとも50人以上の警察官の



増員が必要であるとの事ですが、あの3・11以後の増員実績は、平成23年度は79人、24年度は23人、25年度は25人、26年度は0人、27年度は61人となっております。更に増員には、それぞれ配属先が最初から、ほぼ決められ、振込めサギ対策、DV

ストーカー対策、国際テロ対策等の特定分野に限られているとの事であります。また、財政的な面に於いては、現在39カ所ある警察署では、耐震に問題がある4カ所の警察署を優先して整備を進めるとの事で、新設に関しては、用地購入を含めて多額の予算がかかる事からもその実現が難しい事が伺えます。

そこで質問ですが、こうした課題解決をした上で初めて警察署の新設が実現性を帯びてくると思われ、警察本部長のご見解をお伺いします。

警察官の増員が喫緊の課題であると考えております。

特に、本県警察官1人当たりの業務負担は依然として荷重であることから、警察官の増員が喫緊の課題であると考えております。警察庁では、平成27年度から平成29年度までの3か年で、地方警察官を3,000人増員する構想の下、平成28年度概算要求において、994人の増員を要求しているところであります。

県警察といたしましては、本県に1人でも多くの増員が措置されるよう、引き続き、国に対する要望活動を積極的に行ってまいります。警察署の新設につきましては、今後の増員状況や耐震強度不足の警察署庁舎の整備状況などを踏まえ、総合的に検討してまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

### 答弁 警察本部長

川口市は、人口が59万人を超え、今後も都市化の進展や人口の増加が見込まれることなどから、警察署新

質問

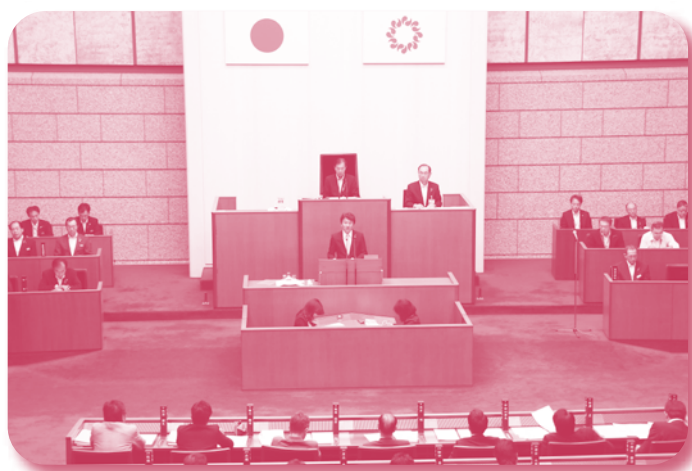
都市計画道路の検証・見直し作業について

埼玉県では、まちづくりの目標として『コンパクトなまちの実現』『地域の個性ある発展』『都市と自然・田園との共生』の3つを掲げております。

都市計画道路は、こうしたまちづくりの将来像を誘導するものであると考えます。

また、将来交通需要に対応されるものであり、その整備は長期間に及ぶので、近年の人口減少や経済の低成長を踏まえると、一定期間には、必要性の検証と場合によっては変更、廃止をしていく必要があると考えます。近年では、検証・見直しを行う都道府県も数多くなってきたりと認識しております。

都市計画道路には個別固有の整備目的があります。隣接都市との連携路線、起終点が市町間をまたぐ一般県道、ICに繋がる交通拠点を連絡する路線、災害時の緊急輸送道路等です。また、用地買収や整備工事等



考えれば膨大な予算と年月が必要となります。完成を待ち望む地域の声、あるいは計画自体に反対の地域の声、完成は期待するがその時期があまりにも不明瞭な事に対しての不満の声、ひきこももであろうかと思えます。

そこで質問ですが、今後は、検証・見直し作業を頻繁に実施する事は出来ないのでしょうか。都市整備部長のご見解をお伺いします。

答弁 都市整備部長

都市計画道路は、都市における根幹的な基盤施設であり、多様な機能を持つております。完成後は、都市の交通機能とともに、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を担います。決定に当たりましては、計画の段階から公聴会の開催や縦覧などを通じ、広く住民の皆様のご意見をお聞きするとともに、都市計画審議会での客観的な審議を経て、慎重に決定されます。

したがいまして、単に長期にわたって事業に着手していないという

理由のみで変更することは、一般的には適切ではないとされております。

しかしながら、都市計画道路の多くは、いわゆる高度経済成長期に計画されており、人口減少、超高齢社会を迎えた現在では、まちづくりの将来像の変化などにより、見直しが必要なものもございます。

今後は、社会状況の変化を的確に把握し計画へ反映できるよう、見直しの間隔を短くし5年程度で行うようにしてまいります。

川口市 人口と世帯			埼玉県 人口と世帯		
区分	総数	対前月比増減数	区分	総数	対前月比増減数
人口	592,611	9	人口	7,257,105	2,574
男	300,792	▲48	男	3,628,579	1,338
女	291,819	57	女	3,628,526	1,236
世帯数	270,864	25	世帯数	2,987,014	3,788

平成27年12月1日現在                      平成27年11月1日現在

**板橋ともゆき プロフィール**

昭和36年11月4日(丑年) 川口市東本郷生まれ  
 血液型:B型

こぼと幼稚園 新郷小学校  
 市立川口高等学校 中央工学

資格:宅地建物取引士 2級  
 不動産コンサルティングマスター  
 ファイナンシャルプランナー(AF)

平成23年市議3期目当選  
 第65代川口市議会議長  
 自民党川口支部 政務調査会:  
 平成27年県議1期目当選



**板橋ともゆき 県政調査事務所**  
 〒334-0061 川口市新堀8 4 1 番地  
 TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644  
 e-mail: itaba-fp@sainet.or.jp

ご意見・ご要望を FAX 又はメールして下さい!